

523石、砂、砂利を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労働 者規 模
1	2017	12	11~12	水路工事現場で、バックホウを使用し、L型擁壁の据え付け作業を行っていた。L型擁壁が所定の位置に納まったので、吊りワイヤーを緩めたところ（バックホウのフックに掛けていたかは不明）、擁壁が被災者の方に倒れ、右足に接触し負傷した。L型擁壁の位置合わせをバールで行っていたところ、L型擁壁が倒れ始めたものである。	54	5	30107	1~9
2	2017	12	20~21	ピザのトッピングをする場所の掃除をしている際、片手で石の板を押さえながら裏の部分を拭いたときにバランスを崩し、板が倒れてきて、左薬指を挟んだ。	34	7	80209	10~29
3	2017	12	5~6	客宅に朝刊を配達し、玄関を出たところで石に躓き転倒した。辺りはまだ暗く、足元に気がつかなかった。	79	2	80205	10~29
4	2017	12	11~12	当社工場内の石置き場で、清掃および片付け業務をしていた際、突然、積んであった大きな石が崩れて落ちてきて、右足の足首辺りに当たった。激しい痛みとともに足が腫れてきて、自力で立てなくなったため、自宅に近い病院で受診したところ、足首を骨折していた。	28	4	150102	10~29
5	2017	12	9~10	外壁工事の際に、庭石、植木鉢を移動する際に腰を痛めた。	40	19	30209	1~9
6	2017	12	19~20	レジでタバコを取りに行く際、保冷機に手をついたとき、上部のガラスが割れた。	21	7	80101	50~99
				鉋過エプロンフィーダ内の鉋石がなくなった為、鉋石投入を行わない信号を送り、エプロンフィーダ内（幅約0.9m、高さ				50~

7	2017	12	14~15	1.5m) の状態確認の為内部へ入った。 内部左側から50cm大の 鉋石が転がり落ち、ふくらはぎにあたり、衝撃で左膝が捻じ れた。	33	6	20309	99
8	2017	12	14~15	建物内部解体植栽伐採工事現場で、石をトラックに積み込む 時、体勢を崩してしまい、後ろに尻もちをつき、その際、 持っていた石を左足くるぶしに落としてしまい骨折した。	22	4	30209	1~9
9	2017	12	13~14	当社の混炭場に隣接する石炭置場において、被災者と他1名の 2名で、積雪を防ぐ石炭養生を行っている各大型シート（1枚 サイズ：18m×18m）上の除雪とシート調整作業を開始し た。 除雪後、被災者がズレ落ちたシートを引き上げる作業を していた途中、突風が吹いてシートが巻き上がり、体ごと シートに持ち上げられて、後向きに3m程飛ばされ落下し、凍 上石炭面に腰部を打ち負傷した。	52	3	20101	10~ 29
10	2017	11	11~ 12	資材置場で路盤材を4tダンプから降ろしている最中、鉋碎の 塊が途中で引っ掛かり、手で小さな塊を取り除いたところ、 その上の大きな塊が滑り落ちてきて被災者の左手に直撃し負 傷した。	51	4	30107	30~ 49
11	2017	11	14~ 15	個人宅リフォーム工事において、ハンマーとスクレイパーに て台所流し前壁タイルを解体作業中、タイルの破片が右目に 飛んで来て負傷した。 痛みはあったものの我慢していたが、 一部視覚が見えなくなり、後日病院で受診する。	40	4	30202	10~ 29
12	2017	11	10~ 11	山林にて間伐作業中に、胸高直径約15cm、樹高約10mの立ち 枯れの木を伐倒したところ、隣の立木に当たり、伐倒木の上 部が樹冠から約1/3の部分で折れて受傷者に落下してきた。 それを右手で払い避けた際に右肩を負傷した。	62	4	30199	1~9
13	2017	10	10~	保安柵で囲んだ現場内で、既設側溝を取り壊した後の休憩中 に、車道側から歩道へ取り壊したコンクリート塊の上に乗っ て渡ろうとした時コンクリート塊が不安定で動いたため、左	44	2	170201	50~

			11	向きに転倒し左手を付いたが、コンクリート塊の間に腕が入り骨折をした。					99
14	2017	10	14～ 15	工事現場にてブロック積の作業中、日頃、持ち上げる時より少し広く持ち上げてしまい、その時に腰に痛みを感じたが作業を続けられるくらいだったので、その日も定時まで作業して、翌日からも出勤していた。	69	19	30107		1～9
15	2017	10	14～ 15	古い墓石の撤去のため重量約1tの石材を移動式カニクレーンで後方の石垣に傾けて倒そうとしていたところ、クレーンで吊っていた石がかたむいてブランコ状態になり、クレーンが浮いて戻ってきた吊っている石と下の石との間に左足先が挟まれて負傷した。左足甲（指付近）が腫れている。	45	7	10909		1～9
16	2017	10	16～ 17	伐採作業中に落石があり、石が左足の甲に当たり負傷した。	29	4	60209		10～ 29
17	2017	10	11～ 12	新築家屋前の路上で、堀用のブロックを移動している時に、別のパレットに積んであったブロックが、積み方が不安定であったため倒れてきて、左足親指を負傷した。	23	5	30202		1～9
18	2017	9	10～ 11	検針枚数261枚を持参し自宅を四輪で出発、作業開始。当該現場に到着、検針実施後、お客様宅のポストへ検針票の投函を終え、次の現場へ向かおうとした際、砂利の庭先途上で小石（凹凸）につまずき、ブロックに右手を突いたと同時に、ブロックで額を強打した。	59	2	170209		100 ～ 299
19	2017	9	17～ 18	現場作業を終え倉庫に帰り、軽トラックから機・資材を荷降し中、セメントの入った容器を地面に降ろした時、地面に着いたショックと風で舞い上がったセメントの微粉を顔面に浴び、両眼にも入った。	66	4	30110		1～9
20	2017	9	15～ 16	住宅地周辺整備工事において、防げとなる雑草を草刈機で刈る作業中、足元にあった石につまずき転倒、そのはずみで地	70	2	30209		1～9

				面に手をつき右手首を骨折、負傷したもの。				
21	2017	9	10～ 11	圃場の中の植木を剪定中、こけて手をついた時に手首を捻挫した。	60	2	170209	—
22	2017	9	16～ 17	庭の解体工事において、石版（200cm×30cm×3cm、6枚、100kg程度）をユンボで吊って（高さ20cm～30cm程度）移動させていたとき、1t対応のベルトが切れてしまい補助作業をしていた被災者の左足の甲に落ちてしまい、中足骨4本を骨折したものである。	45	6	30202	1～9
23	2017	9	16～ 17	外溝工事においてコンクリートブロック積工事の際、ブロックの穴に指をひっかけた状態で両手で一個ずつ持ち運んでいた時、地面に置いてあったブロックにけつまずきブロックを持った状態で地面に突いた際、左手中指が反り返り負傷する。	69	2	30199	1～9
24	2017	9	10～ 11	作業場に於いて、墓地新設に使用する石材90cm×90cm×15cmをカットオフを使って加工し台から降ろす際、石が台からすべり落ち、右足を負傷した。	35	4	30199	1～9
25	2017	9	11～ 12	資材置場にて、廃材分別中に、ブロックベイがたおれてきて、右足の足首とふくらはぎを骨折した。	20	5	30309	1～9
26	2017	9	11～ 12	本社製材工場の土場で、被災労働者は、フォークリフトで製材を運搬する作業をしていた、フォークリフトのフォークの載せていたパレットの上に上がり作業し、パレットから地面に下りようとした時、誤って右足で地面にあった石を踏んで、右足首を負傷した。	34	3	10409	10～ 29
27	2017	8	9～ 10	残土置場にて、石の加工のため、石を選別していたとき、上から転がってきた石に右手を挟まれ負傷した。	63	4	30199	10～ 29
28	2017	8	9～	営業所構内で出荷作業をしていた際に、沓脱石（60cm×30cm×H30cm、重量約30kg）をパレットからパレットへ移そうと	63	7	80109	10～

45	2017	6	12～ 13	クリニック駐車場にて、検査伝票を業者へ渡そうとした際、 駐車場ブロックに躓き転倒し、右手首を左膝を負傷した。	52	2	130102	1～9
46	2017	6	16～ 17	盛土材料（土砂等）の仮置場にて、タイヤローダーで盛土材 料を仮置場に運搬するためにバックをした際、土砂等で盛り 上がった部分に乗り上げてしまいバランスを崩し、タイヤ ローダーが横転したものである。	21	2	30106	10～ 29
47	2017	5	13～ 14	現場内にて、2tダンプトラックの荷台に積載した落蓋式横断 側溝（250）を荷卸しのために吊り金具の調整を荷台の上で 行っていた際に、それを手伝うために2tダンプトラックの側 面より乗ろうとしていて、傾いていた側溝とボディの隙間に 左手を掛けたときに吊り金具の調整を行っていた人の足が側 溝に乗り、製品が動いて左手を挟んだ。	28	7	30106	50～ 99
48	2017	5	13～ 14	工場内の砂置場にて、ポンプを移動させようとした時に、砂 と石が飛んで来て右目に当たった。砂と石がどうして飛んで 来たかは不明である。	31	4	150102	30～ 49
49	2017	5	9～ 10	資材置場（土場）にて、石の片付け作業中に、約40kgの石を 地面に置く際に、石と地面に右手薬指先を挟まれ骨折した。 （当社には事務所、倉庫、土場に常駐する従業員はいな い。）	34	7	30201	10～ 29
50	2017	5	9～ 10	山林で作業道開設のため伐開作業中、チェーンソーの燃料タン クが斜面下方に落ちたため、それを取りに斜面を10m程下っ た場所で、上から拳大の石が顔面をめぐらして転がって来て当 たりそうになり、右手で顔面を防いだ時に右肘に石が当たっ た。	33	6	60201	1～9
51	2017	5	12～ 13	清掃中に浴室と露天風呂の間にあるドアをストッパー代わり にしていた重石を、足で動かそうとしたところバランスを崩 して転倒し、床に右肩をつき骨折した。	54	2	150101	50～ 99
				処分場コンクリートがら置場横にて小割作業をしていた時				

52	2017	4	11~ 12	に、鉄筋の付いているがらを分別していたところ、引っぱった反動で、上のコンクリートの塊がすべり落ちてきて右手親指をはさんで粉碎骨折を負った。	31	5	30309	30~ 49
53	2017	4	11~ 12	玄関前の板石張り工事終了後、使用しなかった影石を一輪車に乗せて片付ける際に、タイヤが縁石に乗り上げてバランスを失い、石がころび落ちて右足第1趾、2趾を直撃した。	28	4	30199	1~9
54	2017	4	10~ 11	トラック道新設現場に於いて、何段も石と丸太を組んで道を作ったので、足場の下から丸太に手を置いて上に上がろうとしていた所、法面にあった約30cm位の石が移動していた重機の振動で左手中指に落ちた。	60	4	30106	1~9
55	2017	4	9~ 10	石材検品作業場において、輸入石材を木枠梱包してある箱から取り出す際に、約450kgの重さの石を縦にしてある状態から横に倒さないとユニックで吊ることが出来ない為、そばにいた他の作業員と共に、手で横に倒したところ、下の角材との間に指が挟まってしまった。瞬間指を抜いた所、右手人差し指の第一関節の先の肉片が剥がれ、中の骨が見える状態になった。通常そのような重さの石は横にした状態で梱包されて来るのだが、縦になっていたため、人力で倒し最後まで手をかけていた被災者が指を挟まれてしまった。	65	7	80209	1~9
56	2017	4	15~ 16	現場で石を直す作業中、前の石を動かした際に立石が倒れてきて、右腕がはさまれた。	81	5	30199	1~9
57	2017	4	10~ 11	現場でブロック（200×400）を積む作業をしている時、低い姿勢から持ち上げたと同時に背中に激しい痛みを感じ、立つことができなくなった。	24	19	30199	1~9
58	2017	3	10~11	解体工事現場内でコンクリート殻を拾う作業を行っている際、解体コンクリートの欠片が落下し、コンクリート塀とコンクリートの欠片に左手の親指と人差し指の間が挟まり裂傷した。	22	7	30202	10~ 29

59	2017	3	3~4	60ccバイクにて朝刊の配達途中、配達先に新聞を入れた後、宅から道路までの砂利道を歩行中、砂利に左足をとられ挫いてしまい、左足関節を負傷した。	35	19	80205	10~ 29
60	2017	3	13~14	庭園工事の石組作業中に、左足を石と石の間に挟まれた。	60	7	30199	1~9
61	2017	3	11~12	自社作業場にて、作業場内の土をダンプで下ろしていてアオリの調子が悪く調整していたところ、急にアオリが開いてしまいダンプ1杯分の土が急激に落下し、体に直撃し右胸を負傷した。	49	5	30202	10~ 29
62	2017	2	11~12	墓地で巻石の撤去工事中、全体の延石を外していた時に側面の延石が当たっていて動かなかった後面の延石が、側面の延石を動かそうとした時に、倒れてきて、足を挟んだ。	62	5	10909	1~9
63	2017	2	11~12	家庭ごみの収集作業中、両手にごみ袋を持ち、パッカー車に投入しようとした時、こぶし大の石が、道路際に転がっていることに気付かず、踏んで右足を捻挫した。	40	19	150103	50~ 99
64	2017	2	13~14	1号スプレー建屋2号鉄ボールミル（粉砕機）を使って原料を粉砕し、スラリー化する作業後にボールミルの排出口からスラリーを排出しようとしたがスラリー排出（エアー圧送）が出来なかった為、エアー抜きを行わず排出バルブ内の状態を確認する為に排出バルブを開けた際、内圧の高いミル内部のスラリーが勢いよく噴出し、作業者の両目に入った。	63	4	10903	50~ 99
65	2017	2	16~17	ブロック（435kg）のコンクリートブロック（A）をバックホウ0.25?（1.5t吊：SH75）の吊り上げによるブロックの取付作業中、当時の天候は曇り時々晴れであり、作業箇所上部（工事用道路）には作業指揮者を設置していた。被災者は取付直後のブロックをバールを使用し、方線に合わせようとブロックAを地山側へ微調整を行った。その瞬間にブロックが被災者にもたれ掛かるように倒れて来た。被災者は胸部付近でブ	68	5	30107	10~ 29

				ロックを受け止めるような体勢でブロックに挟まれた状態になった。				
66	2017	2	10~11	資材置場を整理中、板石の積み直しをしていて、持った石を置く際に、石が滑って下にあった石との間に、右手小指を挟んでしまい小指を負傷した。	44	4	30199	10~ 29
67	2017	2	8~9	製造第三工場で脱型作業中、開口部の内枠を外すため、ハンマーで枠を叩いて押し出そうとした際に、左手が製品の開口部のタイルに接触して受傷したものである。	29	3	10901	30~ 49
68	2017	2	13~14	生コンクリート工場骨材ヤードにおいて、凍結した砂の影響によりホッパーが詰まりを起こしていた為、詰まった砂の状況確認をホッパー上部にて行う際、足元の砂が崩落したことで、試験員もホッパーに転落した。上半身胸部あたりまで砂に埋もれ圧迫により身動きが出来ない中、ホッパースチームから噴出される高温蒸気にさらされ両脚に熱傷を負った。	62	1	10901	10~ 29
69	2017	1	16~ 17	解体工事現場において、長さ1.5mほどのコンクリートガラを人力（3人）で抱えて移動させていた際、バランスを崩し、革手袋から手が抜けてコンクリートガラが足の上に落ち、右足の第2・3趾、左足の第4趾を骨折した。	16	4	30202	1~9
70	2017	1	3~4	ダンプで道路舗装工事現場に舗装材料を卸しに行った際、材料を降ろした後ダンプの荷台にのり合材をスコップで寄せる作業中に体をひねり、背中と肩を痛めた。	64	19	40301	10~ 29
71	2017	1	13~ 14	お客様宅の庭で石柱を移動中に、150kgの石柱を4人で持って運搬しようとした時にバランスをくずし、腰を痛めてしまった。	44	19	30199	1~9
72	2017	1	11~ 12	配達に伺った際、階段を上っている途中に足元のレンガを見落として、これに躓いて転倒、左足首部分を骨折した。	35	2	40301	50~ 99
				被災者は持ち場で列車見張り業務を行うため、駅方面にある				

73	2017	1	14～ 15	持ち場に向かって線路脇を歩いていた際、駅から約500m歩いた持ち場付近で不注意により砂利に足をとられ、転倒して負傷した。	50	2	170201	10～ 29
74	2017	1	13～ 14	石製品を運ぶため、屋外で、パレットに手作業で、製品を積み作業をしていた。製品には部分的に雪が凍りついていた物もあったため、パレットに移す際に、手が滑ってしまい石と石の間に手を挟んでしまった。	42	7	10909	1～9
75	2017	1	9～ 10	自社資材置場において石材の整理整頓作業中、資材が氷っていたため滑り、右手薬指の先を挟む。	59	7	30199	10～ 29
76	2016	12	15～ 16	工場で墓石棹石を地面に倒してクレーンで運び出す作業中、棹石を手で倒す時に枕木と棹石の間に、右手人差し指指先が挟まり損傷。	56	5	10909	1～9
77	2016	12	8～9	置場にて、マス入れ換え工事に使う約10kgのコンクリート製の排水マスを持ち上げ、地面に置いた際に、右手の指を挟んでしまい負傷した。	24	7	30203	1～9
78	2016	12	15～ 16	リフォーム工事現場にて、具合が悪くなり車の中で休憩。車からおりる時にステップを踏み外し転倒し、車の横にあるブロック塀に頭をぶつけた。	63	2	30209	1～9
79	2016	12	8～9	コンクリート製品を鉄製型枠からパレットに移動する際、手を滑らせて製品を右足に落下させて、負傷した。	26	4	10901	10～ 29
80	2016	12	15～ 16	不安定な足場の上で、荷台にシートをかける時に力を入れ、後ろに倒れそうになり、腰と背中をひねった。	61	19	150102	10～ 29
81	2016	11	8～9	基礎捨石の荒均し作業中に石を移動中、所定の位置に据えようとし間詰め石を取ろうとした所、上部から約200kgの石が落下し、手を挟まれ左手の第3関節骨折及び右手中指を裂傷した。	57	4	30111	1～9
				他の業者が以前作業をしている山林で、新人研修を兼ねた森				

82	2016	11	14～ 15	林踏査を行っているとき、忘れ物を車まで取りに行くため斜面を下っていたとき、気が付かないうちに、落石が右手の甲に当たり骨折した。	44	6	60201	1～9
83	2016	11	14～ 15	解体工事現場にて、足場の控えを外しに行った時に残っていたコンクリートガラが上から落ちてきて、右腕に当たる。	20	4	30201	1～9
84	2016	11	15～ 16	事務所倉庫で残料及び、砂、セメントを搬出している時に、最初は腰に違和感が出だし、その後、右足に痛みとしびれが出だした。	36	19	170209	1～9
85	2016	11	9～ 10	徒歩にて勤務地へ向かい、中に入った所に石が転がっているのに気付かず乗り上げ、足首をひねってしまい、左足を捻挫した。	47	19	150101	30～ 49
86	2016	11	15～ 16	施設の運動場で、バスケットボールをしている時、子どもがシュートしたボールに砂がついておりシュートして落ちてきた砂が、ボールの行方を見ていた被災者の目に入り、右目を負傷した。	20	4	130201	10～ 29
87	2016	11	15～ 16	堆積場で被災者が堆積土砂から木の枝や鉄くずなどを、手で除去しているときに土砂が崩れ、首から下が埋もれた。	60	5	20202	1～9
88	2016	11	14～ 15	サージビンの中のいつきを取るため、フィーダー部分とサージビンの中から2名で、いつきの除去作業を行っていた。サージビンの中に入って作業を行っていたところ、足元が崩れ生き埋めになった。	34	5	20309	1～9
89	2016	11	16～ 17	コンクリート製品の製造工場において、型枠の組み立て作業を行っている時に、型枠を閉じる際、右手で取っ手の部分を持ち、左手で型枠の端の所を押さえながら閉じていたが、閉じる直前に取っ手を掴んでいる右手が滑り、離れたため、左手指を棒と棒の間に挟まれ、中指と薬指を骨折した。	38	7	170101	—
			11～	ダンプで土砂搬出中、石が後板にはさまっていた為、除去し				

90	2016	10	12	ようとして、誤って石と後板の間に指がはさまって負傷した。	16	7	30106	1～9
91	2016	10	16～ 17	現場作業を午前中で切り上げ、午後台風準備を兼ね資材置場の鋼管・単管パイプ等を整理中にブロックにつまずき、ブロックが足の甲に落ちてきた。	65	4	30106	1～9
92	2016	10	11～ 12	霊園にて墓石を動噴霧器を用いて水洗い作業中、墓石上に置いてある石を少しズラしておいたところ、しっかりと押さええていなかったため、水で石が滑り落下、作業中の被災者の左足の上に落ち、受傷した。	61	4	30199	10～ 29
93	2016	10	10～ 11	解体工事現場において、4トンダンプトラックに積んでいたコンクリート殻が落ちてきて右手首に当たり負傷した。	66	4	30309	30～ 49
94	2016	10	0～1	事業所内の資材置場等で、約25kgのセメントやブロックなどを持ち上げて運ぶ作業をしていたところ、腰から右足の付け根の辺りが傷むようになった。	21	19	170209	10～ 29
95	2016	10	9～ 10	事務所前の階段を上っている時、石を踏んで右足首をひねり靭帯損傷した。	23	19	80209	30～ 49
96	2016	10	14～ 15	幹先の壁の下付近で解体材を拾っている最中、上部のコンクリート壁が不安定な状態で有るのを見落としていた時、その一部のコンクリート片が落下し、右手親に当たり被災した。	49	4	30201	1～9
97	2016	10	14～ 15	庭石を据え付けている、敷地内のほぼ平らな所に、少し土を盛り、その上に庭石を据え付けたが石の下部に少し土が不足していたので、スコップで土を入れ、足で土を奥の方へ押し込んでいたら、その石が足の上に下がって来て、土と石の間に足がはさまってしまった。	0	7	30199	1～9
98	2016	9	9～ 10	林道現場内で、L型擁壁の床堀の仕上げの作業を行っているとき、バックホウのバケットではすくいきれない岩の破斥を人力によってバケットに入れる作業を行っていたとき、抱え上	55	7	30309	10～ 29

				げた岩とバケツの間指を挟み、右手薬指を骨折した。				
99	2016	9	13～ 14	宅地開発現場の草刈に従事していた。2人で草刈機を使用し左右にわかれて作業、左にいた被災者は保護めがねの中がくもり、めがねをはずしてくもりをとっていたとき、もう1人が操作していた草刈機の先端より飛石があり、左目にあたり負傷した。	38	4	30199	10～ 29
100	2016	9	16～ 17	作業場構内にて産廃物の仕分け作業中に、別の場所で行われていた高圧洗浄作業で舞った埃で異物が右目に混入し、目を擦ってしまい、眼球に傷が付き、負傷した。	47	4	170101	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。